

新元号「令和」

朝日新聞

2019年(平成31年)

4月1日

月曜日

朝日新聞東京本社
発行所:〒104-8011 東京都中央区
築地5-3-2 電話:03-3545-0131
www.asahi.com

号外

朝日新聞

ご購読のお申し込みは

0120-33-0843

朝日新聞 サブスクリプション

インターネットで

https://33.asahi.com/

スマホ・携帯で



朝日新聞
DIGITAL

>>>お申し込み・詳細は、
朝日新聞デジタル 検索

新天皇即位の5月1日から

典拠は万葉集 初の国書由来

菅義偉官房長官は1日午前11時40分ごろ、首相官邸で記者会見し、新しい元号は「令和」と発表した。典拠は奈良時代に完成した日本に現存する最古の歌集「万葉集」。日本で記された国書に由来する元号は確認できる限り初めてとなる。元号を改める政令は即日公布され、皇太子さまが新天皇に即位する5月1日に施行される。

天皇退位に伴う改元は憲政史上初めて。1989年1月に始まった「平成」は、残り1カ月で幕を閉じる。

新元号は645年の「大化」から数えて、248番目。「大化」から「平成」までは、確認されている限り中国



新元号「令和」を発表する菅義偉官房長官。1日午前11時41分、首相官邸、西畑志朗撮影

の儒教の経典「四書五経」など漢籍を典拠としており、安倍政権の支持基盤である保守派の間には国書由来の元号を期待する声があった。政府は今回、国書を専門とする複数の学者にも考案を依頼していた。

元号の選定手続きは1日午前9時ごろから始まった。政府の要領に沿って、菅氏は横島裕介・内閣法制局長官の意見を聴いたうえで、元号の原案として数案を選定した。午前9時半すぎから、ノーベル賞受賞者の山中伸弥京大教授ら、各界の有識者9人による「元号に関する懇談会」に原案を提示。元号候補とその典拠、意味などについて説明し、メンバーそれぞれから意見を聴いた。

菅氏は午前10時20分ごろから衆院議長公邸で、大島理森衆院議長ら衆参両院の正副議長の意見を聴取。その後、全閣僚会議を開き、新元号を記した元号を改める政令を臨時閣議で決定した。元号を改める政令は天皇陛下の署名・押印、官報掲載を経て、1日中に公布される。

新元号の公表に先立ち首相官邸は、閣議決定直前に宮内庁を通じて天皇陛下と皇太子さまに新元号を伝達したとみられる。政府は前回の改元でも、即位直後の天皇に「平成」を事前伝達している。

詳しくはWEBで。

検索

YAHOO!
JAPAN